

第132回労働政策フォーラム／大学等の質保証人材育成セミナー  
キャリア形成に寄与する学び直し・リカレント教育  
令和6年3月19日 (火)

リカレント教育の  
愛媛大学における実践の取り組み

愛媛大学大学院農学研究科長  
地域専門人材育成・リカレント教育支援センター長

治多伸介



## 愛媛大学 第4期中期目標 (抜粋)

第4期中期目標期間においては、少子化、高齢化、地球環境問題の深刻化という中長期的課題に加えて、With コロナ社会における価値観や社会システムの再構築という新たな課題に、全学を挙げて取り組むこととする。また、大学も社会の変化とともに機能や社会的役割を変容させる必要があることを認識し、組織としてのダイバーシティを推進する。さらに、**全世代対応型の「地域における知の拠点」としての多機能化を図り、Sustainableな社会、Resilientな地域社会の構築に貢献する。**(前文より抜粋)

1. 人材養成機能や研究成果を活用して、地域の産業(農林水産業、製造業、サービス産業等)の生産性向上や雇用の創出、文化の発展を牽引し、持続可能な地域共創社会の実現を目指す。

## 愛媛大学 第4期中期計画 (抜粋)

(2)「**全世代の人材が活躍する社会**」の構築につながるリカレント教育の推進に向けて、**地域及び地域産業に関する専門知識・技術を有し、地域活性化のリーダーとなれる「地域専門人材」の育成をはじめとして、社会情勢や地域のニーズの変化に応じた人材育成プログラムを、ステークホルダーと協働して開発し強化する。**

第4期中期目標の期間: 令和4年4月1日から令和10年3月31日

# 愛媛大学 第4期中期計画 評価指標

## 1) リカレント教育プログラムの修了者数

第4期中期目標期間末までに、延べ3,000人以上

## 2) リカレント教育プログラムの開発や改善に関わる ステークホルダーの数

第4期中期目標期間末までに、延べ200機関以上

## 3) 地域協働型センターと地域専門人材育成・リカレント教育支援 センターが連携して実施したリカレント教育の成果公表と情報 発信のための企画件数(シンポジウムの開催や報告書の発行等)

第4期中期目標期間末までに、累計20件以上

# 愛媛大学の概要

## 大学 (学生数)

■学部学生

**7,929人**

四国最大の  
総合大学

■大学院生

修士課程 **780人**

博士課程 **301人**

専門職学位課程 **92人**

## 卒業者の進路状況 (学部)

■卒業者数

**1,811人**

■進路状況

就職 **1,265人**

■就職先内訳

民間企業 **767人**

進学 **451人**

教員等 **120人**

その他 **95人**

研修医 **107人**

公務員 **208人**

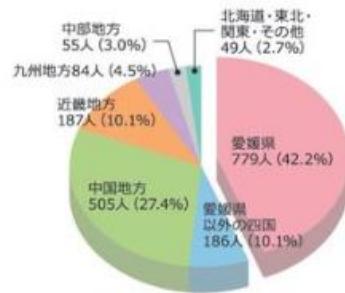
病院等 **63人**

## 入学者数・出身地別内訳 (学部)

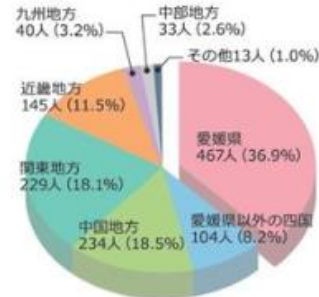
■入学者数

**1,845人**

入学者の出身地としては、愛媛県内の約40%をはじめ、主に瀬戸内圏内に住む学生の学びの場となっています。



■地区別就職先



令和5年5月1日現在

## 令和4年度入試データ 入学者データ

### ■入学者の主な出身地

愛媛 … 757人	徳島 … 54人	東京 … 21人
広島 … 312人	高知 … 54人	静岡 … 16人
岡山 … 121人	大阪 … 50人	愛知 … 16人
香川 … 95人	鳥根 … 33人	山口 … 16人
兵庫 … 89人	鳥取 … 22人	福岡 … 16人



# 愛媛大学の強み



## 学部

法文学部

教育学部

社会共創学部

理学部

医学部

工学部

農学部

## 大学院

人文社会科学研究科

教育学研究科

医学系研究科

理工学研究科

農学研究科

連合農学研究科

医農融合公衆衛生学環

地域レジリエンス学環

## 機構

教育・学生支援機構

先端研究・学術推進機構

**社会連携推進機構**

国際連携推進機構

## ■ 県内唯一の国立大学

✓ 理系人材の育成

✓ 医師・看護師、教員の養成

✓ 地域志向人材の育成

## ■ 高度な学術研究機能

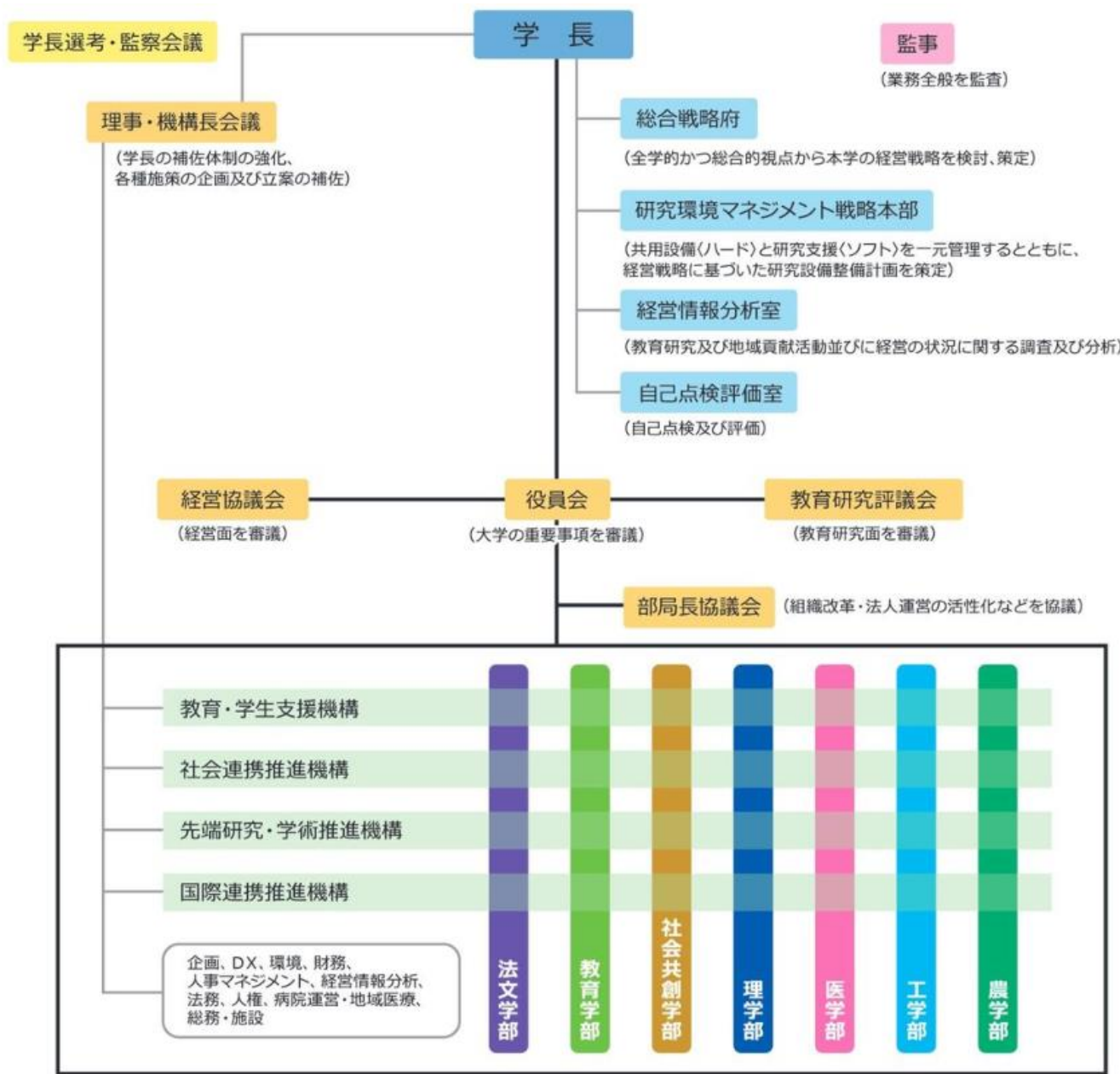
✓ 3つの共同利用・共同研究拠点

## ■ 幅広い社会連携機能

✓ 県内各地に設置した  
「地域密着型センター」

# 愛媛大学の運営体制

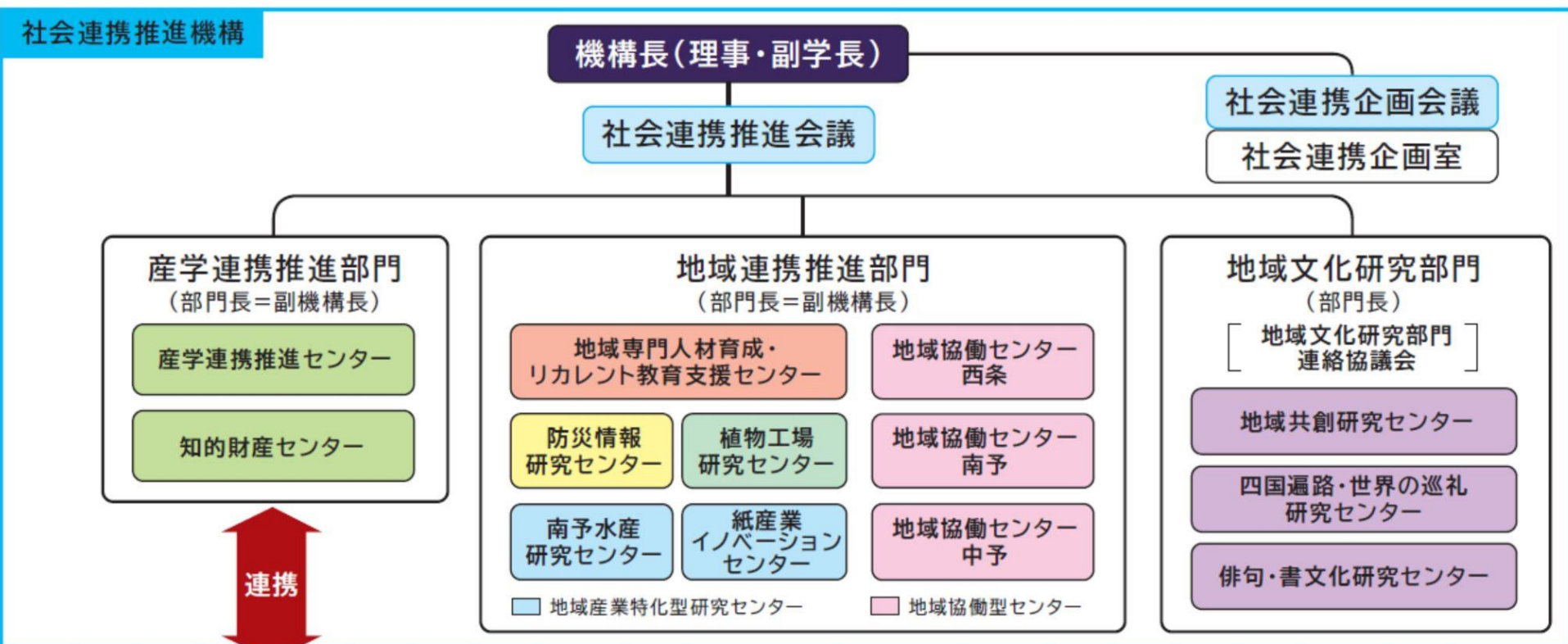
## 縦系と横系による全学ガバナンス



# 愛媛大学の幅広い社会連携機能

愛媛大学は、地域貢献型の大学として、地域の永続的な発展に貢献するべく、愛媛大学の持つ教育と研究に関わる強みや特色を最大限に活用して、社会貢献を果たしています。

**産学連携と地域連携**の2つの機能を有する社会連携推進機構は、現在、**愛媛県及び県内全20市町を含む23の公的機関、22の企業・諸団体との間で連携協力協定を締結**するとともに、**14のセンターを設置して社会連携体制の整備と拡充**を進めています。



四国TLO

令和5年7月1日(土)に「食品健康機能研究センター」が開設

えひめベンチャー支援機構

愛媛大学社会連携推進機構研究協力会

# 愛媛大学の地域密着型センター

愛媛大学では、「地域に密着した中核機能」を発揮することを目的として、**愛媛県及び県内全20市町と連携協力協定を締結**するとともに、地域の特性・ニーズに応じて愛媛県内に「**地域密着型センター**」を設置しています。

「**地域密着型センター**」には、

- ① **幅広く地域活性化に貢献する「地域協働型センター」**
- ② **地域産業のイノベーションを目指す「地域産業特化型研究センター」**

という2つのタイプがあり、それぞれの地域の特性に応じたセンターをその地域に配置することで、愛媛県内全域で地域に密着した中核機能を発揮しています。

## ① 地域協働型センター

### 地域協働センター西条

- **専任教員1人、兼任教員26人（全学部・研究科から参加）**
- 平成28年7月、西条市・地域創生センター内に設置。
- 東予地域は第一次産業、第二次産業、第三次産業がバランスよく存在しており、産学官連携、6次産業化支援、高大連携活動、リカレント教育プログラム開講、フィールドワーク、インターンシップ、地元就職支援などの拠点として様々な課題解決に取り組んでいる。

### 地域協働センター中予

- **兼任教員20人（全学部・研究科から参加）**
- 令和3年3月開設。2つの活動拠点（医学部を有する東温市、また、観光の中心である松山市）を設置。
- 中予地域はサービス産業の第三次産業に特徴があり、医療、健康産業、観光・サービス産業、農林業等の課題解決に取り組んでいる。

### 地域協働センター南予

- **兼任教員28人（全学部・研究科から参加）**
- 令和元年10月、西予市・宇和米博物館内に設置。
- 南予地域は第一次産業が盛んなエリアであり人口減少問題、鳥獣害対策、空き家問題、公共交通網維持、柑橘産業等の課題解決に取り組んでいる。

## ① 地域協働型センター

県内の東予・中予・南予地域に設置し、**地域連携コーディネーターと多様な専門分野を有した多数の兼任教員**が、**地域の様々な課題解決に向けて地域ステークホルダーと協働**で取り組んでいる。

## ② 地域産業特化型研究センター

紙関連の産業クラスターがある四国中央市に「**紙産業イノベーションセンター**」を、海面養殖が盛んな愛南町に「**南予水産研究センター**」をそれぞれ設置し、研究（技術開発）と教育（人材育成）を一体化して行い、その地域の基幹産業の課題解決と担い手確保を図っている。

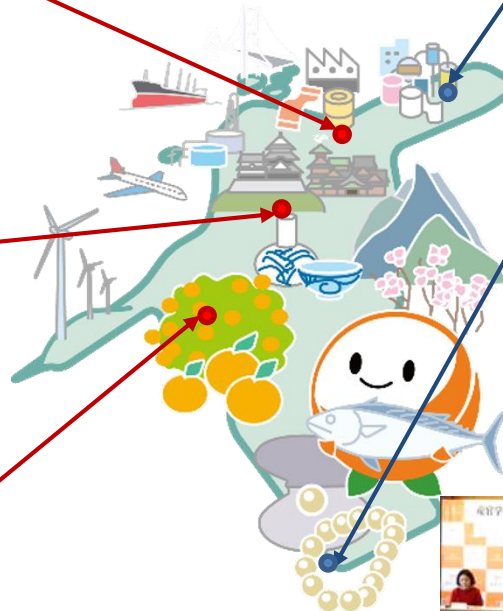
## ② 地域産業特化型研究センター

### 紙産業イノベーションセンター

- **約40人の教職員と学生が居住=>レジデント型センター**
- 平成26年に設置。**自治体や企業の支援により平成30年に新棟建設**
- 地元紙産業界との連携（地元企業との共同研究実施、企業の研究者を大学院生・研究員として受入）

### 南予水産研究センター

- **約50人の教職員と学生が居住=>レジデント型センター**
- 平成20年に設置。**地元の愛南町から旧庁舎・旧校舎を無償借用**
- 持続可能な「えひめ水産イノベーションシステム」の構築
  - ① 新養殖魚種スマの完全人工養殖技術と流通システムの開発
  - ② ICT活用による赤潮・魚病対策技術の開発と活用



野菜スイーツ『Saita』開発  
(地域協働センター西条)



平成30年に建設した新棟  
(紙産業イノベーションセンター)



完全養殖に成功したスマ  
(南予水産研究センター)



# 地域協働センター西条



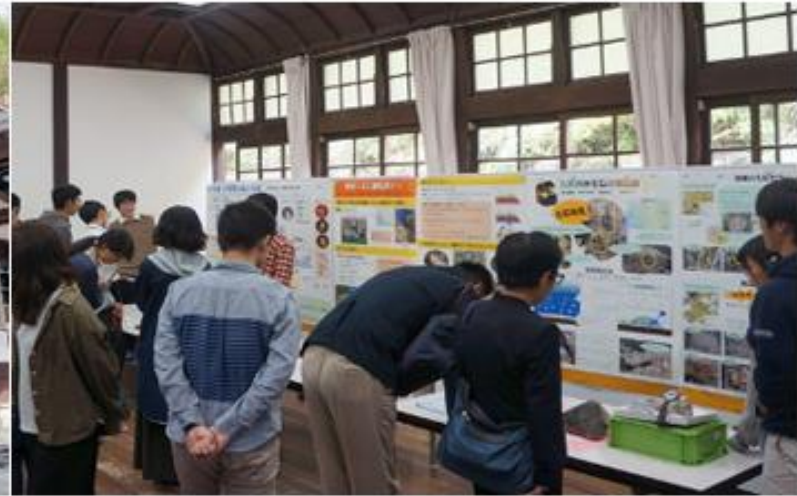
## 地域のステークホルダーとともに「地域創成」に挑む

東予地域における産業、文化、自然の特徴及び地域からのニーズに対応して、愛媛大学の多くの教員が係わり、様々な活動を地域と協働して展開し、広く地域活性化に貢献することを目的としています。

具体的には、(1)高大連携活動、(2)主に社会人を対象とした修士課程授業、(3)産学官連携活動、(4)農業の6次産業化支援、(5)フィールドワーク、インターンシップ、(6)就職活動、(7)住民向け高等教育機会(リカレント教育)の提供などの拠点として機能しています。



# 地域協働センター南予



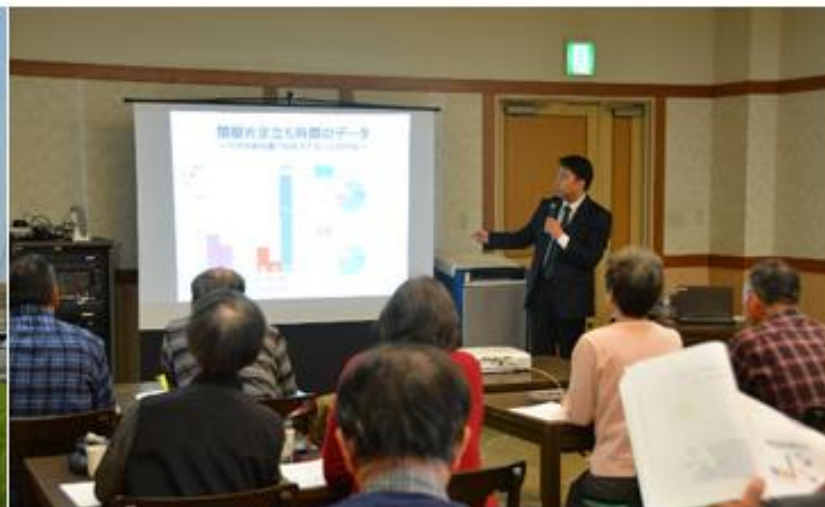
## 南予地域の活性化を公・民・学の協働で実現！

地域協働センター南予は、南予地域における人口減少、基幹産業の衰退、鳥獣被害、地域内経済の流出、空き家問題、地域資源の新たな活用などの地域課題を[公][民][学]の協働により解決していくことを目的としています。

本センターは、南予地域の様々な課題を地域間連携協働事業などを通じて、[学]がもつ専門的知識・技術の分野間連携を進め、先進的な研究活動やフィールド学習、キャリア教育、高大連携事業などを実施しています。また、地域活力の創出のために、社会人リカレントプログラムの提供や南予地域のインターンシップや就職活動を促進していきます。



# 地域協働センター中予



メインキャンパスとのハイブリッド型連携活動拠点として「地域協働」を展開

地域協働センター中予は、本学と中予地域の市町やステークホルダーとの協働によって、ウェルネス事業、観光業、農林業等の発展を通じて地域と地域産業の活性化や地域の芸術文化の振興等に貢献することを目的に令和3年3月に設置されました。

本センターは、中予東温と今後開所予定の松山の2拠点から成り、中予東温では健康・医療を中心にウェルネス事業、観光業、農林業等の発展を通じて地域及び地域産業の活性化、中予松山では観光・文化を中心に、観光サービス業の人材育成に係るリカレント教育や地域の芸術文化振興等の活動を推進します。



# 紙産業イノベーションセンター



## 紙産業界ニーズへの対応

紙産業の発展に資する学術研究の推進を図り、併せて地域社会の活性化と発展に貢献することを目的として、平成26年4月に四国中央市に設立しました。本センターは、愛媛県の協力を得て、愛媛県産業技術研究所 紙産業技術センター内に設置されています。紙産業技術センターには、紙質特性評価装置をはじめ、精密分析用機器から大型パイロットマシンまで様々な装置が備えられており、紙に関する研究を行うには最高の環境が整えられています。紙産業イノベーションセンターでは、3部門を設置しています。

- (1) 現在の製紙・紙加工に関する課題解決と製紙技術の高度化に向けた研究を行う「製紙技術研究部門」
- (2) 機能性材料等を紙に付与することにより、新規紙製品を開発する「紙製品研究部門」
- (3) 各種原材料の新たな機能を探求する「機能性材料研究部門」

また、センター内に地域連携・研究支援室を設置し、地域紙産業界や自治体との連携を密にする、開発技術の迅速かつ円滑な技術移転及び実用化を目指した地域産業貢献型の研究センターです。

# 南予水産研究センター



## 地域と共に水産業のイノベーションを目指す

水産養殖は、世界的にはこれからの食品産業をリードする発展産業と位置づけられています。本センターは、日本屈指の水産養殖基地である愛媛県南予地域に、愛媛大学と愛南町が共同で設立したレジデント型研究拠点で、愛南町内の二つの施設（船越ステーション、西浦ステーション）と松山ステーションから構成されています。先端的研究により地域の水産業を牽引するとともに成果を世界に発信することを目指し、「生命科学」、「環境科学」、「社会科学」の三研究部門体制による文理融合型研究を推進しています。現在、新規マグロ類「スマ」による新産業の創造や、ICT、IoT技術と遺伝子解析技術を融合した赤潮、魚病対策技術の開発などに全力で取り組んでいます。



# 植物工場研究センター



## 地域農業振興の拠点

愛媛大学における植物工場研究をより一層推進することを目的として、平成24年4月に、植物工場関連のセンターを統合する組織改編を行い、本センターを設立しました。本センターには植物工場における基盤的技術の開発及び植物工場の普及・拡大への貢献が求められていることを考え、知的植物工場基盤技術研究部門(農学部構内)と植物工場実証・展示・研修部門(宇和島市南レクアグリパーク内)の2つの部門を設置しました。



各種センサを用いて、植物の生体情報を直接取得して、植物の生育状態などを診断し、その結果に基づいて環境を制御することを『スピーキング・プラント・アプローチ』といいます。これを実現するためには、さまざまな知識、データ、ノウハウが蓄積された「知識ベース」が必要となります。本センターでは、IT及びロボット技術を活用して膨大な植物生育診断情報を効果的に収集・解析し、知識ベースに基づいた知的植物工場システムの構築を目指しています。

# 決して未来ではない 「もしも」に備えて

防災（ぼうさい）とは災害を未然に防ぐための各種行為、施策、取り組みをいう。  
災害の概念が広いので地震や風水害のような自然災害のみならず、火災、爆発のような  
人為災害、あるいは伝染病のようなものへの対応も含めて使われることがある。

活動情報

Activity Information

イベント情報

Event Information

組織概要

Organization Overview

研究成果

Research

四国防災八十八話・ダウンロード

Download

センターギャラリー

Center Gallery

# 愛媛大学の代表的なリカレント教育プログラムと実施主体

## 目標: 地域や地域産業の活性化

- 社会共創クリエイター育成講座 (社会共創学部) ※
- 地域創生イノベーター育成プログラム(東予)(地域協働センター西条) ※
- 地域創生イノベーター育成プログラム(南予)(地域協働センター南予) ※
- 柑橘産業人材育成プログラム (農学研究科附属柑橘産業イノベーションセンター) ※

## 目標: 地域産業のイノベーション

- 愛媛大学水産人材育成講座 (南予水産研究センター)
- 森林環境管理学リカレントプログラム (農学部) ※
- 観光サービス人材リカレントプログラム (法文学部・地域協働センター中予)

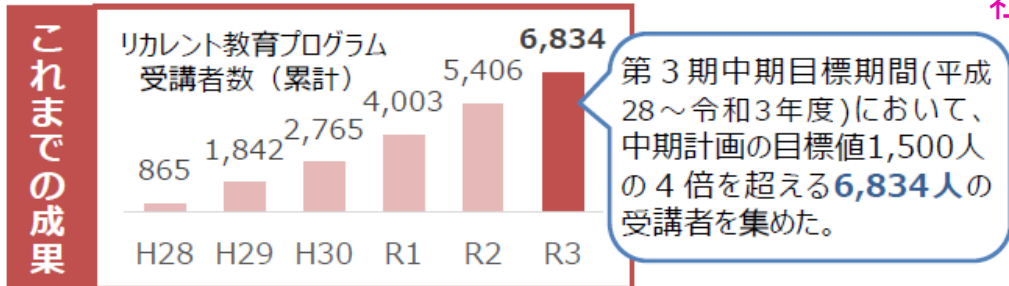
## 目標: 地域や社会基盤の保全

- 防災士養成講座 (防災情報研究センター)
- 社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座 (理工学研究科(工)・防災情報研究センター・工学部附属社会基盤iセンシングセンター) ※
- 消費生活講座 (法文学部)

## 目標: 新産業の創出

- 植物工場人材育成プログラム (植物工場研究センター)

地域専門人材(地域及び地域産業に関する専門知識・技術を有し、地域活性化のリーダーとなれる人材)の育成を目指して、社会的重要性が高いプログラムを、多様な実施主体が開講



※: 履修証明プログラム・・・60時間以上の体系立てたプログラムで修了者に対して法に基づく履修証明書(Certificate)が交付され、ジョブカードへの記載ができる。





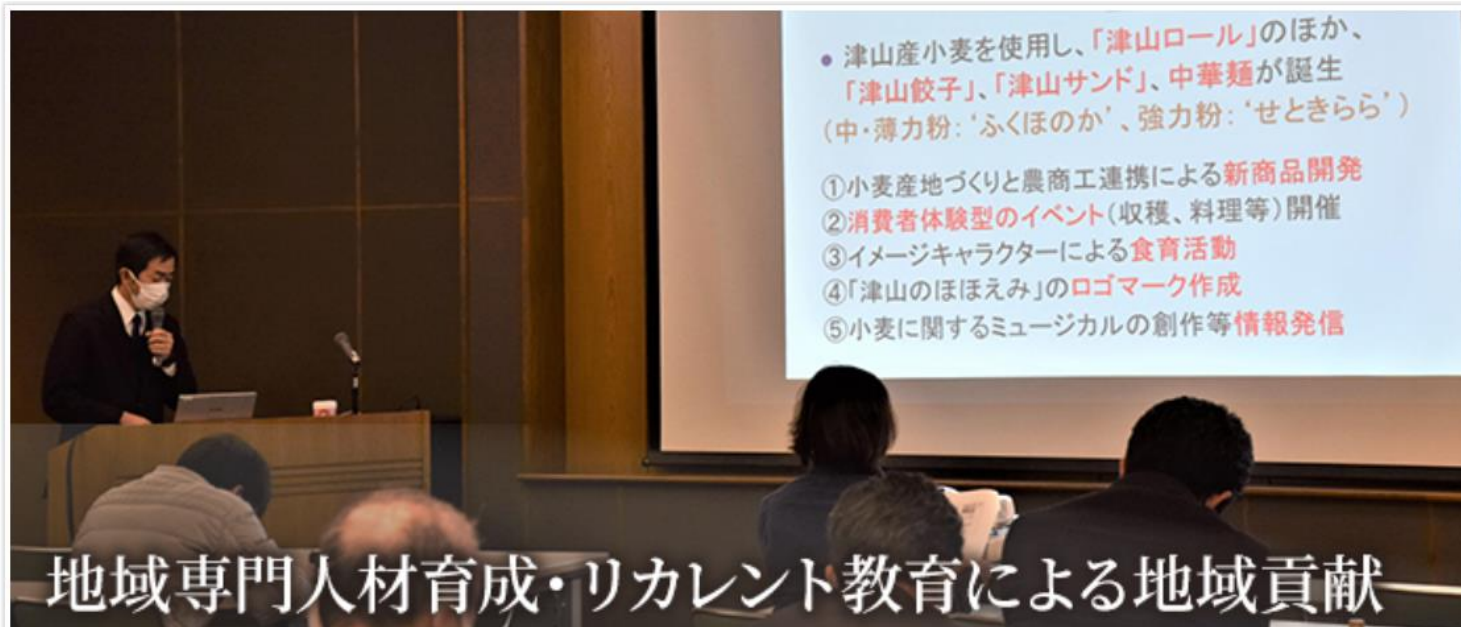
[TOP](#)

[センターについて](#)

[リカレント教育プログラム](#)

[講演セミナー](#)

[新着情報](#)



### リカレント教育プログラム

多様な地域社会のニーズに応じた充実した内容のリカレント教育プログラムを開講しています。

[詳細を見る](#)



### 講演セミナー

幅広い分野・ジャンルをテーマに知識や理解を深める機会となる講演セミナーを開講しています。

[詳細を見る](#)

### 新着情報

2023.12.01 [リカレント教育プログラム](#) 「地域専門人材育成・リカレント教育支援センターシンポジウム」を開催しました。

2023.09.13 [講演セミナー](#) 「地域専門人材育成・リカレント教育支援センターシンポジウム2023」を開催しました。

2023.08.28 [リカレント教育プログラム](#) 令和5年度植物工場人材育成プログラムが開催されます。

2023.07.28 [リカレント教育プログラム](#) 「愛媛大学観光サービス人材リカレントプログラム」を開催しました。

# 地域創生イノベーター育成プログラム(東予)

文部科学省  
「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」採択



令和4年度 愛媛大学 履修証明プログラム

ソーシャルイノベーター創出

地域創生イノベーター育成プログラム(東予)

履修証明

## 受講の手引き

【開催日程】※( )はコマ数(1コマ:90分)

期 日	プログラム		
令和4年	9月24日(土)	開講式・ガイダンス(1) プログラムの概要と地域創生の考え方(1), SDGsの推進に向けて(2)	I 地域を取り巻く 新たな潮流
	10月8日(土)	Society5.0とDX(4)	
	10月22日(土)	カーボンニュートラルとグリーンイノベーション(3+1)	
	10月29日(土)	地域イノベーションマッチングの手法(3)	II 問題解決の 方法を学ぶ
	11月5日(土)	レジリエンス(3)	
	11月19日(土)	地域創生に向けた実例シリーズ(3)	
	11月23日(祝)	地域創生に向けた研究シリーズ(7)	
	11月26日(土)		III 成果発表
	12月3日(土)	次世代を先取りする地域事例(6)	
	12月10日(土)	産学民官連携のための合意形成手法(3)	
12月17日(土)	産学民官連携のための合意形成手法(3)		
令和5年	1月28日(土)	政策形成演習(4)	
	2月18日(土)	マイプロジェクトプレゼンテーション(4) 講評・閉講式	

【履修時間】

正規受講者:31名(直接13/オンライン18)

延べ14日間, 計72時間(2単位)

※上記日程のほか, キャリアコンサルティング4.5時間(3コマ1日分相当)を含む

【チューター】

社会連携推進機構副機構長(地域協働センター西条 センター長) 羽藤 堅治

地域協働センター西条 上野 秀人

地域専門人材育成・リカレント教育支援センター 副センター長 正本 英紀

国立大学法人 愛媛大学 社会連携推進機構

(地域協働センター西条, 地域専門人材育成・リカレント教育支援センター)

内外有識者やステークホルダーの意見も踏まえ構成

## 1 多彩な外部講師陣の登壇

現場の第一線で活躍する産学民官の若手中堅人材を投入! 講師の半数以上に外部講師を採用(21名/40名)



## 2 充実のサポート体制

- ① **チューター**を3名配置し, 大学院進学や関係機関の紹介まで幅広く対応
- ② **キャリアコンサルタント**による就職や転職, 進学等に関するアドバイスの場を創設するとともに, オンラインの**支援コンテンツ**を提供
- ③ 労働局とタイアップして, 受講に向けての**情報提供を推進**するとともに, 就職・転職支援を実施



## 3 付与される称号

大学の正規の履修証明プログラムとして実施され, 履修した受講者に対しては「**地域創生イノベーター**」の称号を付与



## 4 次世代を担う新たな知見の習得

SDGsを中心にSociety5.0/DX, CN/グリーンイノベーション, イノベーションマッチング, レジリエンスなど**社会の最新動向を学ぶ**とともに, 産学民官/異分野連携に必要な**合意形成手法**についても, きちんと学修



産学民官連携の事業実施委員会が支援

# 令和4年度 地域創生イノベーター育成プログラム(東予)

## 【プログラムのポイント】

### ① 地域ニーズの把握

地域専門人材・リカレント教育支援センターの専任教員（コーディネーター）が、**地域内外の有識者12団体16人**からリカレント教育に関する意見を聴取するとともに、**行政部局・経済団体・NPO・高等教育機関**など地域の**52団体**を幅広く訪問し、**地域人材育成に向けた対話を実施**。

### ② ニーズをもとにしたカリキュラム改編

**Society5.0/DX, CN/グリーンイノベーション, レジリエンス**など、現代の社会課題に対応したカリキュラムに改編。文部科学省「**DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業**」に採択。

現場の第一線で活躍するプロフェッショナルが外部講演者として登壇

最新の内外動向の取入

プロジェクト実現スキル

主な科目	講演内容	外部講演者の所属先
Society5.0とDX	ICT/IoTの活用による地域活性化 西会津町デジタル戦略の推進 鯖江発オープンデータ活用とDFFT	四国総合通信局, 西会津町(CDO), (株)jig.jp
カーボンニュートラルとグリーンイノベーション	カーボンニュートラルに向けたエネルギー科学技術 地域循環共生圏の構築に向けた取組	中国四国地方環境事務所(四国事務所), 九州大学(カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所)
地域イノベーションマッチングの手法	イノベーションマッチング 科学技術コミュニケーション	IAMAS(情報科学芸術大学院大学) 島根大学(地域未来協創本部)
レジリエンス	地域と連携した「防災」と「まちづくり」の担い手育成 企業・団体におけるBCPへの取組	愛媛県中小企業家同友会
地域創生に向けた事例シーズ	サテライトオフィスの進出 四国西予ジオパークの推進 旅によるコンフォートゾーンを出る経験の重要性	(株)プラットイーズ, 四国西予ジオパーク推進協議会, ANAX(株)
次世代を先取りする地域事例	神山プロジェクト コミュニティナースを活用した地域づくり 地域案内人・ガイド「インタープリター」の養成 新しい働き方の創造と地域活性化 スマートかつ強靱な地域社会(RX)の実現に向けて	認定NPO法人グリーンバレー, 久万高原町立病院, (一社)をかしや, NPO法人いよココロザシ大学, (株)パソナJOBHUB, 四国経済産業局
合意形成手法	合意形成手法の基礎 ワーキングスペースの重要性	(有)環境とまちづくり, コダテル

# 令和5年度プログラムの発展

文部科学省 成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業 **採択**



令和5年度 愛媛大学 履修証明プログラム  
**ソーシャルイノベーター創出**  
 地域創生イノベーター育成プログラム (東予)

## 受講の手引き

【開講日程】※( )はコマ数(1コマ:90分)

開講日	プログラム	
9月23日(土)	開講式・ガイダンス(1) プログラムの概要と地域創生の考え方(1)、SDGsの推進に向けて(2)	
9月30日(土)	変動する社会の動向(4)	I 地域を 取り巻く 新たな潮流
10月7日(土)	未来社会の構築(3)	
10月21日(土)	地域イノベーションマッチングの手法(3)	
10月28日(土)	ハイオマス産業都市から脱炭素先行地域へ(4)	
11月4日(土)	地域資源活用のダイナミクス(3)	II 問題解決の 方法を学ぶ
11月18日(土)	次世代を先取りする地域事例(6)	
11月23日(休・祝)		
11月25日(土)	キャリアアップ・キャリアチェンジのための手法検討	
12月2日(土)	地域創生に向けた研究シーズ(8)	
12月9日(土)		III 成果発表
12月16日(土)	産学民官連携のための合意形成手法(3)	
令和6年 1月20日(土)	政策形成演習(4)	
2月17日(土)	マイプロジェクトプレゼンテーション(4) 講評・閉講式	

### 【履修時間】

全14日間、計72時間

### 【チューター】

社会連携推進機構副機構長(地域協働センター西条 センター長) **羽藤 堅治**  
 地域協働センター西条 副センター長 **松本 賢哉**  
 地域協働センター西条 教授 **上野 秀人**  
 地域専門人材育成・リカレント教育支援センター 副センター長 **正本 英紀**

国立大学法人 愛媛大学 社会連携推進機構

(地域協働センター西条、地域専門人材育成・リカレント教育支援センター)

## 特色

1 多彩な外部講師陣の登壇(22名/40名)

2 充実のサポート(チューター・キャリアコンサルタント等)

3 付与される称号(地域創生イノベーター(東予))

4 サークュラーエコミー関連科目の重点化

地方創生

地産地消

地域通貨

環境保全

5 地域ハブ人材・イノベーションマネジメント人材の育成強化

## 主な講演者

演 題	講演者
カーボンニュートラルに向けたエネルギー科学技術	松本 広重(九州大学)
あさひかわデザインウィーク	杉本 啓維 (旭川家具工業協同組合)
スマートシティ会津若松の推進	本島 靖(会津若松市)
真庭バイオマス産業都市構想の展開	道下 昌弘(真庭市)
地域におけるジオパークの推進	新名 阿津子(高知大学)

① 地域を取り巻く新たな潮流

9月23日(土)	プログラムの概要と地域創生の考え方	① 愛媛大学のビジョン・戦略・取り組み	愛媛大学 理事・副学長	若林 良和
		② 愛媛大学の地域連携と地域協働センター	愛媛大学 教授	羽藤 堅治
	SDGsの推進に向けて	③ SDGsの概要と意義	愛媛大学 教授	小林 修
		④ 自治体SDGsの推進-西条市の事例-	西条市役所	曾我部 智弥
9月30日(土)	変動する社会の動向	① Society5.0時代の地方~ICT/IoTの活用による地域活性化~	四国総合通信局	西岡 優
		② 地域循環共生圏の構築と生物多様性の保全に向けた取組	中国四国地方環境事務所	大淵 鉄也
		③ 地域と連携した「防災」と「まちづくり」の担い手育成	愛媛大学 教授	NETRA Prakash Bhandary
		④ 地域の金融をめぐる動向	四国財務局	佐藤 嘉信
10月7日(土)	未来社会の構築	② カーボンニュートラルに向けたエネルギー科学技術	九州大学 教授	松本 広重
		③ あさひかわデザインウィーク	旭川家具工業協同組合 専務理事	杉本 啓維
		④ スマートシティ会津若松の推進	会津若松市役所	本島 靖
		② イノベーションマッチング	島根大学 准教授	服部 大輔
10月21日(土)	地域イノベーションマッチングの手法	③ 愛媛大学における産学民官連携の動向とプロジェクトマネジメント	愛媛大学 准教授	入野 和朗
		④ 多様な知識が共創する「地域レジリエンス学環」入学のすすめ	愛媛大学 教授	森脇 亮
		① バイオマスの総合的利用	徳島大学 准教授	佐々木 千鶴
10月28日(土)	バイオマス産業都市から脱炭素先行地域へ	② 愛媛県の紙産業の課題と紙産業イノベーションセンターの取組	愛媛大学 教授	内村 浩美
		③ バイオマスイノベーションの発想と展開		
		④ 真庭バイオマス産業都市構想の展開	真庭市役所	道下 昌弘

② 問題解決の方法を学ぶ

11月4日(土)	地域資源活用のダイナミクス	② 上勝町における「INOWプログラム」の展開に向けて	(同)RDND 代表	東 輝実
		③ 宇和海の資源を掘り起こせ	企業組合こもねと 事務局長	清家 裕二
		④ 神山プロジェクトの推進に向けて	認定NPO法人グリーンバレー 理事	大南 信也
		② えひめ西条つながり基金創設までの道程	(一社)リズカール 代表理事	安形 真
11月18日(土)	次世代を先取りする地域事例①	③ 国際展開発地方創生行 地域における複業の展開	ワクレイ新居浜 事業部マネージャー	植松 可奈美
		④ コミュニティナースという橋渡し	(一社)ゆりラボ コミュニティナース	新川 麻実
		(一社)ゆりラボ 理事	酒井 大輔	
11月23日(木・祝)	次世代を先取りする地域事例②	② 地域におけるジオパークの推進	高知大学 講師	新名 阿津子
		③ 新しい働き方の創造と地域活性化	総務省 地域情報化アドバイザー / 地域力創造アドバイザー	加藤 遼
		④ 持続可能な地域経済社会(RX)の実現に向けて	四国経済産業局	熊野 哲也
11月25日(土)	キャリアアップ・キャリアチェンジのための手法検討	対面・オンラインによるキャリアコンサルティング	アビリティセンター(株) 総合人材コンサルタント	藤江 直子
12月2日(土)	地域創生に向けた研究シーズ①	① 愛媛県の養殖業の課題と南予水産研究センターの取組	愛媛大学 特命教授	松原 孝博
		② 文化資源マネジメントと観光まちづくり	愛媛大学 准教授	井口 梓
		③ 工学的方法による課題解決	愛媛大学 教授	小林 千悟
		④ スマート農業の推進	愛媛大学 教授	羽藤 堅治
12月9日(土)	地域創生に向けた研究シーズ②	① 愛媛大学における植物工場研究の特徴と展開	愛媛大学 教授	有馬 誠一
		② 愛媛大学における環境保全型農業の展開	愛媛大学 教授	上野 秀人
		③ 四国遍路と世界遺産	愛媛大学 教授	胡 光
		④ 地域包括ケアの推進	愛媛大学 教授	藤村 一美

令和5年度に  
新規開講した講義

すべてオンデマンド方式での受講が可能  
第1回と最終回(愛媛大学農学部)は対面とオンライン遠隔方式の併用開講、栽培実習(愛媛県みかん研究所)は対面で開講

愛媛大学  
柑橘産業人材育成プログラム

令和5年 令和6年  
8月 - 2月開講

受講申し込み期間：  
令和5年6月28日(水)～7月26日(水)  
プログラム内容、募集要項などの詳細情報：  
<http://ciic-jinzai.agr.ehime-u.ac.jp>

募集人数： 受講費用：  
30名 30,000円  
定員に達し次第、締め切らせていただきます。



「愛媛大学柑橘産業人材育成プログラム」は、愛媛大学大学院農学研究科附属柑橘産業イノベーションセンターが主催し、愛媛大学農学研究科の教員が、中国四国農政局、愛媛県、県内市町、JA、関連企業、関連農家の皆様の協力を得て実施する「柑橘産業にかかわる総合的かつ発展的な知識を習得できる、67.5時間のプログラム」です。  
本プログラムを、是非、ご受講いただき、柑橘産業の益々の発展と、皆様の新しい未来の展開に繋がっていただければ幸いです。

プログラムの詳細は裏面

写真：温州ミカンのマルドリ栽培(八幡浜市)

お問い合わせ先



愛媛大学大学院農学研究科附属  
柑橘産業イノベーションセンター  
Citrus Industry Innovation Center

柑橘産業人材育成プログラムオフィス  
☎ ciic-jinzai@agr.ehime-u.ac.jp  
TEL : 089-946-9803 / FAX : 089-946-9963

令和5年度 柑橘産業人材育成プログラム

開講月日	曜日	時限	講義題目	担当
第1ステージ: 柑橘産業の全体像と、柑橘産業を取り巻く社会情勢と発展性を理解する				
8月19日 (農学部+オンライン)	土	2	プログラムの目的と全体像	柑橘産業イノベーションセンター
	土	3	愛媛県の柑橘産業の歴史、特徴、発展性	愛媛県庁
	土	4		
10月14日 オンデマンド 配信開始	土	3	日本の農業・農政の動向と果樹産業(総括編)	農林水産省中国四国農政局
	土	4	日本の農業・農政の動向と果樹産業(柑橘編)	
第2ステージ: 柑橘産業を営み発展させるための基礎的な科学知識を習得する				
8月26日 オンデマンド 配信開始	土	1-2	柑橘の分類と育種・繁殖	羽生 剛 准教授
	土	3-4		
9月2日 オンデマンド 配信開始	土	1-2	柑橘の生理、生態と栽培方法	羽生 剛 准教授
	土	3-4		
9月16日 オンデマンド 配信開始	土	1-2	土壌の物理性、化学性と水管理	治多 伸介 教授 久米 崇 准教授
	土	3	環境配慮、資源再利用の技術	治多 伸介 教授
	土	4	柑橘農地の災害による崩壊メカニズムと対策	小林 節之 教授
9月23日 オンデマンド 配信開始	土	1	柑橘園地整備における計画と設計	武山 絵美 教授
	土	2	土壌生物の働きと利用	上野 秀人 教授
	土	3	施肥・土壌管理技術	
	土	4	植物養分の科学と栄養診断	
9月30日 オンデマンド 配信開始	土	1-2	害虫と防除	小西 和彦 教授
	土	3	病害と対策	八丈野 孝 准教授
10月7日 オンデマンド 配信開始	土	1-2	柑橘農地での農作業と農業機械	有馬 誠一 教授 上加 裕子 准教授
	土	3	柑橘の選果と貯蔵	高橋 憲子 准教授
	土	4	収穫後の柑橘の腐敗とその防除方法	森松 和也 講師
10月14日 オンデマンド 配信開始	土	1-2	柑橘の保健機能成分と機能性食品開発	菅原 卓也 教授
	土	1	食料・農業・農村問題の基礎	榑 真一 准教授
10月21日 オンデマンド 配信開始	土	2		柑橘産業の経営戦略「愛媛県の果樹産地と農協」
	土	3	坂橋 衛 教授(現在 北海道大学教授)	
	土	4	柑橘産業の販売戦略	
第3ステージ: 柑橘産業の先端技術状況と就職・進学・経済支援に関わる社会制度を理解する				
9月9日 (みかん研究所)	土	1	柑橘の栽培実習(中晩柑の摘果)	井上 久雄 准教授
	土	2	柑橘の栽培実習(温州みかんの摘果)	
	土	3	柑橘農地、柑橘栽培、柑橘加工、柑橘流通などに関わる先端技術を学ぶフィールドワーク(1)	愛媛県みかん研究所
	土	4	柑橘の結実管理技術	井上 久雄 准教授
1月27日 オンデマンド 配信開始	土	1	柑橘農地、柑橘栽培、柑橘加工、柑橘流通などに関わる先端技術を学ぶフィールドワーク(2)	愛媛県八幡浜支局
	土	2	農研機構	
2月3日 (みかん研究所)	土	1	柑橘の栽培実習(中晩柑の剪定)	井上 久雄 准教授
	土	2	柑橘の栽培実習(温州みかんの剪定)	
	土	3	柑橘の枝梢管理技術	
2月10日 (農学部+オンライン)	土	1-2	県、市、JA、愛媛大学などの支援制度	愛媛県、市町、JA、愛媛大学など

# 柑橘産業人材育成プログラム設置の背景

柑橘産業の復興，発展に対する社会要望

+

愛媛大学大学院農学研究科附属

柑橘産業イノベーションセンターの開設 (H30.12.1)

柑橘産業イノベーションセンター南予サテライトの開設 (R元.5.27)



愛媛大学大学院農学研究科附属  
柑橘産業イノベーションセンター 南予サテライト

愛媛大学大学院農学研究科は、平成30年7月の豪雨災害により県内各地で甚大な被害を受けた柑橘産業の復興と発展を支援するため、平成30年12月1日に「附属柑橘産業イノベーションセンター」を設置しました。その後、今年3月1日に、宇和島市からの設置要望、当該産業界からの連携支援の要望が実現する形で、被害が甚大であった南予地域の拠点として、愛媛県農林水産研究所果樹研究センターみかん研究所内に、「附属柑橘産業イノベーションセンター南予サテライト」を立ち上げました。



## 【地域連携室の機能】

- \* 復興支援に関する要望，研究テーマに関する情報の収集
- \* 産地からの要望を受け，担い手育成に係るリカレント教育等に係るプログラムを企画調整

# 「柑橘産業人材育成プログラム」の概要

## 【目的】

愛媛の柑橘農業および柑橘の加工，流通を含む幅広い関連産業の振興に資する能力を有する人材を育成します。

## 【応募対象】

柑橘産業および関連産業に関心を持つ一般社会人を広く募集。例えば，1)将来的に柑橘産業及び関連産業に従事することを志している方，2)現在従事している仕事に役に立つ知識を得ることを目的とする方，3)柑橘産業に対する教養的な知識を高めたい方など。

## 【内容概要】

本プログラムは，3つのステージから構成。「ステージⅠ」では「柑橘産業の全体像と，柑橘産業を取り巻く社会情勢と発展性」を，「ステージⅡ」では「柑橘産業を営み，発展させるための基礎的な科学的知識」を習得，「ステージⅢ」では「柑橘産業の先端技術状況と就職・進学・経済支援に関わる社会制度」を理解し，柑橘産業の将来を担うイノベーション人材になることを目指していただきます。

【付与される称号の名称】 「愛媛大学柑橘産業イノベーター」

【開講期間】 令和5年8月～令和6年2月

【開講形式】 2回の対面講義(オンライン・オンデマンド配信あり)＋オンデマンド配信  
＋ 2回の現地実習(オンデマンドあり)

【募集人数】 30人 【受講料】 3万円





#### 年末年始休業のお知らせ

本リカレントプログラム事務局は、2023年12月26日～2024年1月4日までの期間休業いたしますので、お問い合わせや1月の講義のお申し込みはお早めにご連絡お願いいたします。

系列	授業科目名	時間	講義	実習	会場	講師
ベーシック 基礎を知る	森林・林業入門Ⅰ	18	12	6	久万高原	愛媛県林業研究センター職員 山田容三（愛媛大学名誉教授） 戸田 正和（元愛媛県職員）
	森林・林業入門Ⅱ	18	6	12	久万高原	豊田 信行（元愛媛県職員）
	森林計測技術論**	12	12	0	久万高原 農学部	竹島 喜芳（中部大学准教授） 都築 勇人（愛媛大学准教授）
	林業工学概論*	12	12	0	農学部	鈴木 保志（高知大学教授） 酒井 秀夫（東京大学名誉教授）
	森林施業プランナー論	12	6	6	農学部	牧野 耕輔（鹿児島大学特任講師） 新永 智士（株式会社鹿児島総合研究所代表取締役社長）
	林業経営学概論*	12	12	0	農学部	松本 美香（高知大学准教授） 大田 伊久雄（琉球大学教授）
	木材利用論*	12	12	0	農学部	林 和男（愛媛大学名誉教授） 山崎 真理子（名古屋大学准教授）

マネジメント 知識を深める	造林学概論*	12	12	0	農学部	横井 秀一（岐阜県立森林文化アカデミー教授）
	野生動物被害防止論	12	6	6	農学部	高柳 敦（京都大学准教授）
	精密森林管理論	12	6	6	農学部	竹島 喜芳（中部大学准教授）
	労働安全衛生管理論	12	6	6	久万高原	山田容三（愛媛大学名誉教授） 戸田 正和（元愛媛県職員）
	森林認証概論*	12	12	0	農学部	速水 亨（林業家・FSCジャパン副代表） 三柴ちさと（FSCジャパン指針・規格マネージャー）
	森林作業管理論*	12	12	0	農学部	山田容三（愛媛大学名誉教授）
	木材工学論	12	6	6	農学部 久万高原	杉森 正敏（愛媛大学教授） 杉元 宏行（愛媛大学准教授） 愛媛県林業研究センター職員
	森林関係行政論**	12	12	0	農学部	枚田 邦宏（鹿児島大学教授） 愛媛県森林局職員
コーディネーター 課題を考える	森林生態系論*	6	6	0	農学部	嶋村 鉄也・鍋嶋 絵里（愛媛大学准教授）
	森林レクリエーション論	12	6	6	久万高原	大浦 由美（和歌山大学教授） ジョン・ギヤスライト（中部大学教授）
	森林サービス論*	6	6	0	農学部	山田容三（愛媛大学名誉教授）
	山地災害防止論	12	6	6	農学部	山田 孝（北海道大学教授） 四国森林管理局職員
	木材流通論**	6	6	0	農学部	檜崎達也（フォレストメディアワークス代表）
	木造建築概論*	12	12	0	農学部	藤原 幹雄（東京大学教授） 安井 昇（桜設計集団代表） 網野 禎昭（法政大学教授）
	バイオマス・エネルギー論	6	3	3	見学先	吉岡 拓如（東京大学准教授）
	森林産業育成論*	12	12	0	農学部	本藤 幹雄（物林株式会社新事業推進部）
	林業マネジメント論*	12	12	0	農学部	長谷川 香織（紋別バイオマス 発電株式会社）
	地域資源管理論*	12	12	0	農学部	山田容三（愛媛大学名誉教授） 笠松 浩樹（愛媛大学特任講師）

## 愛媛大学を中心とする産官学の連携

ME養成講座は、愛媛大学の履修証明プログラムです。愛媛大学防災情報研究センターが主催し、地域社会の課題解決のために教育・研究拠点を形成してME資格者の養成とフォローアップ教育に取り組んでいます。さらに、地域社会と連携した人材育成・地域活性化を図るために、「愛媛社会基盤メンテナンス推進協議会」（国土交通省四国地方整備局、愛媛県、松山市をはじめ全20市町と建設業界団体の各種協会などが構成）が共催し、その運営を支援しています。また、公益社団法人土木学会四国支部より後援を受け、技術者継続教育（CPD：Continuing Professional Development）等の単位取得もできる養成プログラムとなっています。

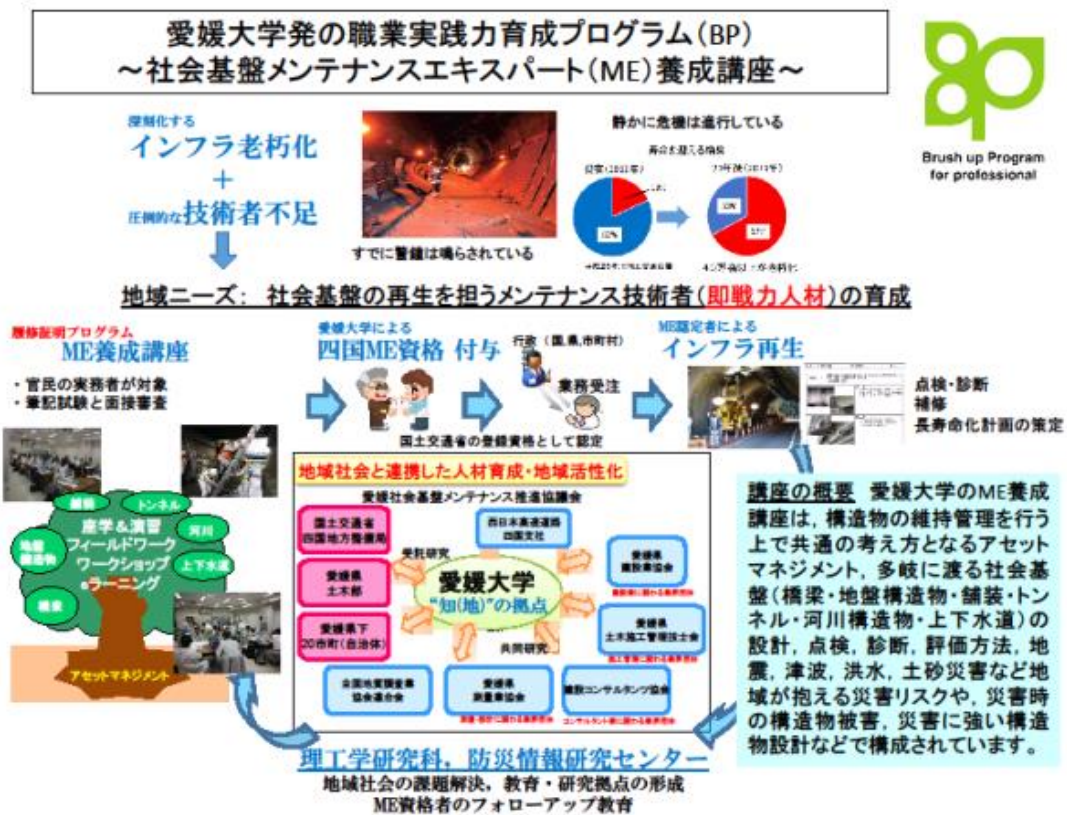


表-1 令和5年度 社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座の時間割

科目枠	開催日	1時限目 (8:30~10:00)	2時限目 (10:20~11:50)	3時限目 (12:40~14:10)	4時限目 (14:30~16:00)	5時限目 (16:20~17:50)	(18:30~20:00)	
前半	1	8/30 (水)	【開講式】 ガイダンス アイスブレイク	社会基盤と 維持管理(総論)	社会基盤のアセットマネジメント		グループ事例研究	講義、事例研究の レポート作成
	2	8/31 (木)	劣化モデルと 評価手法	劣化モデルと 評価手法<演習>	ライフサイクル コスト	維持管理における AI技術	グループ事例研究	講義、事例研究の レポート作成
	3	9/1 (金)	舗装の設計と 維持管理	道路附帯設備の 点検と補修工法	<実習> コンクリートの 耐久性試験	<実習> 詳細点検のための 非破壊検査技術	グループ事例研究	講義、事例研究の レポート作成
	4	9/4 (月)	橋梁上部工の 設計と維持管理 (鋼橋)	橋梁上部工の 設計と維持管理 (コンクリート橋)	橋梁上部工の 設計と維持管理 (床版)	橋梁構造物の 下部工の 設計と維持管理	【注】 対面での受講 が原則ですが、 第4日~8日 については遠 隔受講(Web オンライン)を 併用する場合 があります。	講義、事例研究の レポート作成
	5	9/5 (火)	鋼橋の損傷と対策	コンクリート橋の 損傷と補修工法	橋梁の補修設計	橋梁構造物の 基礎工の 設計と維持管理		講義、事例研究の レポート作成
	6	9/6 (水)	橋梁の耐震補強	維持管理の 新しいアプローチ (橋梁の簡易点検)	トンネルの設計	トンネルの 変形と補修工法		講義、事例研究の レポート作成
	7	9/7 (木)	港湾・海岸施設の 維持管理	港湾・海岸施設の 損傷と補修	河川構造物の 維持管理	河川堤防の 損傷と補修		講義、事例研究の レポート作成
	8	9/8 (金)	斜面の設計と 維持管理	擁壁の設計と 維持管理	四国・愛媛県の 地形と地質	地域の地盤特性と 健全度評価		講義、事例研究の レポート作成
9	9/25 (月)	<実習> 海岸施設の点検と診断、補修		下水道の 維持管理	<実習> 下水道の点検と診断、補修			講義、事例研究の レポート作成
10	9/26 (火)	トンネルの 点検と診断	<実習、演習> トンネルの点検と診断、補修					講義、事例研究の レポート作成
11	9/27 (水)	橋梁の 維持管理手法	<実習、演習> 橋梁の点検と診断、補修					講義、事例研究の レポート作成
12	9/28 (木)	斜面の設計と 維持管理<演習>	擁壁の設計と 維持管理<演習>	<実習> 自然斜面、落石、切土、擁壁の点検と診断、補修				講義、事例研究の レポート作成
13	9/29 (金)	リスク マネジメント	メンテナンス 技術者倫理	社会基盤と維持管理 ワークショップ		【閉講式】 今後の技術 向上に向けて	講義、事例研究の レポート作成	
eラーニング (8/17-29)	橋梁工学		コンクリート構造物の損傷		鋼橋構造物の損傷			
	構造物の補修・補強		共通の損傷		橋の点検要領			
	コンクリート橋の点検		鋼橋の点検		構造物の詳細調査			

応募資格	以下の要件を満たす土木・建設系の技術者が対象です。
	(1) 官公庁等の土木技術者 同技術者のうち、社会基盤の維持業務を3年以上経験またはそれと同等以上の能力を有している者
	(2) 建設業界の土木技術者 同技術者のうち、社会基盤の点検・調査、構造物の新設・補修・補強に係わる設計・施工管理業務を実施した経験を3年以上有する者
申請手続き	(3) その他 (1)または(2)の要件を個別に満たしていないが、複数の所属機関における実務経験(複数機関での経験含む)により同等の要件を満たすと愛媛大学で認められた者
	募集要項により応募書類を募集期日までに提出してください。愛媛大学において申請書類を審査し、受講の可否を決定します。
受講費用	18万5千円(受講料150,000円、テキスト代24,500円、傷害保険料500円、eラーニング手数料10,000円)

本養成講座は、厚生労働省の「人材開発支援助成金」等が申請できます。

詳細については、下記をご覧ください。

- ・厚生労働省助成金申請について (PDF)
- ・手続き方法：厚生労働省HP (人材開発支援助成金)
- ・専門実践教育訓練明示書 (PDF)

# 観光サービス人材 リカレントプログラム

## 『令和5年度 愛媛大学観光サービス人材リカレントプログラム』を開講

愛媛大学は、『令和5年度 愛媛大学観光サービス人材リカレントプログラム』を開講します。

本プログラムは、愛媛県・四国の観光サービスに関心を持つ人ならびに観光地経営・旅行・交通・宿泊・飲食・物産販売等、観光サービス業についての学習経験や職業経験のある人（観光ボランティア、管理者、経営者、起業家、観光団体関係者）等を対象に、「持続可能な愛媛県・四国の観光サービス向上」を主題とした社会人のリカレント教育（学び直し）を実施し、観光産業の振興と地域社会の多様な持続的な発展をめざします。皆様のご参加をお待ちしています。

プログラム (定員)	対象	授業目的
16名	<ul style="list-style-type: none"> <li>●愛媛県・四国の観光サービスに関心を持つ人</li> <li>●観光地経営・旅行・交通・宿泊・飲食・物産販売等、観光サービス業についての学習経験や職業経験のある人（観光ボランティア、管理者、経営者、起業家、観光団体関係者）等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①観光サービスの理解</li> <li>②観光サービスの提案</li> <li>③仲間づくり</li> <li>④遠隔型（オンライン型）授業レッスン</li> </ul>

令和5年（2023年）度 愛媛大学観光サービス人材リカレントプログラム 教育課程表			
共同主催：愛媛大学法文学部 愛媛大学社会連携推進機構・地域協働センター中予			
協力：産官学連携観光産業振興協議会			
後援：国土交通省・観光庁			
主題：持続可能な愛媛県・四国の観光サービス向上			
日 程	行 事		拠点会場
開講式 9月26日（火） 13:30～13:55	主催者挨拶 愛媛大学社会連携推進機構・地域協働センター中予 センター長（兼）医学部 教授 今村健志 来賓挨拶 産官学連携観光産業振興協議会副会長 奥村敏仁氏		愛媛大学 E.U. Regional Commons (松山市)
日 程	授業方法	科目/授業方法/主題/講師・担当者（所属・役職・氏名）	拠点会場
9月26日（火）		総合研究	
第1回 14:00～15:00	講演	持続可能な過後・愛媛・四国の観光振興と人材育成 産官学連携観光産業振興協議会副会長 過後温泉旅館協同組合理事長 大和屋本店旅館代表取締役社長 奥村敏仁氏	愛媛大学 E.U. Regional Commons (松山市)
15:15～16:15	講演	観光立国推進基本計画と観光地振興・観光人材育成 愛媛大学法文学部（兼）地域協働センター中予 教授 和田寿博	
16:40～17:00	ワークショップ	愛媛大学法文学部（兼）地域協働センター中予 教授 和田寿博	
10月12日（木）		観光文化研究	
第2回 13:30～15:00	講演	伊予ことばとおもてなし文化 愛媛大学法文学部 教授 秋山英治	愛媛大学 E.U. Regional Commons (松山市)
15:15～16:15	講演	四国とアジアのスポーツ・ツーリズム 愛媛大学社会共創学部（兼）地域協働センター中予 准教授 山中亮	
16:20～17:00	ワークショップ	愛媛大学社会共創学部（兼）地域協働センター中予 准教授 山中亮	
10月26日（木）		観光業・観光まちづくり研究	
第3回 13:30～15:00	講演	旅館業のDX推進と働き方改革 過後プリンスホテル取締役社長 佐渡祐収氏	過後プリンスホテル (松山市)
15:15～16:15	講演	過後の観光まちづくりと危機管理 愛媛大学法文学部 教授 小田敬美	
16:20～17:00	ワークショップ	愛媛大学法文学部 教授 小田敬美	
11月2日（木）		事例研究	
第4回 10:30～12:00	視察と講演	しまなみ観光とレンタサイクルの魅力 一般社団法人しまなみジャパン 専務理事 坂本大蔵氏	今治市民会館 道の駅マリノアアシスをはた (今治市)
13:30～15:00	視察と講演	しまなみ観光と地域振興 しまなみグリーン・ツーリズム推進協議会 会長 西部知香氏	
15:15～16:00	ワークショップ	愛媛大学地域協働センター南予 教授 前田真	
11月21日（火）		観光言語研究	
第5回 13:30～15:00	講演	地域観光英語の活用 愛媛大学教育・学生支援機構 英語教育センター 副センター長（兼）地域協働センター中予 教授 中山晃	愛媛大学 E.U. Regional Commons (松山市)
15:15～16:15	講演	台湾観光の魅力と台湾語の活用 台湾・開南大学観光興業院旅館学系 助理教授 郭惠珠氏	
16:20～17:00	ワークショップ		
12月5日（火）		研究・開発と発表	
第6回 13:00～15:00	パネル ディスカッション	持続可能な愛媛県・四国の観光サービス向上の研究・開発 産官学連携観光産業振興協議会会長 四国ツアーズ株式会社取締役会長 中野隆氏 愛媛大学法文学部（兼）地域協働センター中予 准教授 中西泰造	愛媛大学 E.U. Regional Commons (松山市)
日 程	行 事		会 場
修了式 12月5日（火） 15:00～15:30	主催者挨拶 愛媛大学法文学部長 井口秀作 来賓挨拶 産官学連携観光産業振興協議会会長 中野隆氏		愛媛大学 E.U. Regional Commons (松山市)
日 程	遠隔型（オンライン）授業レッスン		会 場
随時 9月20日（水） 9月25日（月）他 20:00～21:00	遠隔型（オンライン）レッスン	愛媛大学教授 和田寿博 他	遠隔型授業

# 愛媛大学水産人材育成講座

## 2023年度 受講生募集

### 愛媛大学水産人材育成講座 —基礎編・水産学概論—

愛媛県は、全国第3位の漁業・養殖業産出額を誇る水産県であり、水産業は南予地域の基幹産業として、地域経済に大きく貢献しています。しかし、近年、我が国では水産資源の減少による漁獲量の長期的な減少、漁業就業者の減少・高齢化、水産物消費の減少と魚離れ、魚価の低迷など、水産業を取り巻く状況は一段と厳しく、地域経済への影響が懸念されています。一方で、海外では水産物の消費が増大し、世界の水産物貿易も増加するなど、水産業はこれからの成長産業として注目されています。

このような国内外の状況を踏まえ、我が国の水産業にイノベーションを起こせるような人材の育成と、それらの人材を通じた地域創成が求められるところであり、本県における水産業の重要性に鑑み、さらに社会人の学び直しニーズにも応えられるよう、改めて水産学を学ぶ講座を開講します。

この講座は、養殖生産者、漁協、水産関連企業、行政、金融に関わる社会人など様々な方を対象としており、講座を主催する大学関係者も加え、ネットワークが形成されることを期待しています。この講座を通して、新たな知識、新たな人に出会っていただけたらと思います。ぜひ受講をご検討ください。

※プログラムは裏面に記載しています。

#### 募集人数

30名程度

#### 受講料

6,000円  
高校生及び  
リピーター受講生※は  
3,000円

※リピーター受講生とは、令和4年度までの水産人材育成講座を受講された方（修了の有無は問いません）  
をいい、令和5年度の応募の際に受講された方は除きます。

#### 募集期間

2023年8月4日(金)  
～9月4日(月)

<当日消印有効>

#### 受講対象者

- ◇ 漁業者、水産業者、漁協等職員、自治体等職員
- ◇ 商工業者、農林業者、農協等職員、金融関係者、高校生
- ◇ その他、水産の資源活用、地域振興、産業創出等について学ぶ意欲のある者



#### 開講期間・開講方法

- ◇ 2023年10月～2024年2月 毎月1回 第3土曜日 10:30～16:20 ※初回の10:15開始
- ◇ 愛媛大学南予水産研究センター船越ステーション（愛南町船越1289-1）での対面形式と、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用しての非対面形式とのハイブリッド形式で行います。
- ◇ リアルタイムでの参加のほか、講義を収録した動画をYouTubeチャンネルにて約1か月間、受講者に限定配信しますので、都合に合わせた受講が可能です。



#### 修了の要件と修了証

- ◇ 講義の7割以上の出席と受講した講義のレポートの提出で修了を認定し、「修了証」を発行します。



愛媛大学  
南予水産研究センター  
South Ehime Fisheries Research Center

#### 講座スケジュール(予定)

「愛媛大学水産人材育成講座—基礎編・水産学概論—」

月1回開講

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 10/21<br>(土)<br>10:15<br>～16:20 | <b>【I. 海と生物(基礎)】</b><br>○ 開講挨拶 愛媛大学南予水産研究センター センター長 松原孝博<br>○ 講座の概要説明 愛媛大学南予水産研究センター<br>○ 生物生産環境：海の流れと基礎生産、食物連鎖、基礎生産のメカニズム<br>愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 武岡英雄<br>○ 水産生物：水産魚介類の分類および生理・生態<br>愛媛大学南予水産研究センター 教授 高木基裕<br>○ 遺伝と育種：水産資源の改良・遺伝的管理及び育種（Ⅱ.水産増養殖1）<br>愛媛大学南予水産研究センター 教授 高木基裕 |
| 11/18<br>(土)<br>10:30<br>～16:20 | <b>【Ⅱ. 水産増養殖1(概論)】</b><br>○ 水産環境保全：富栄養化、環境微生物、水域汚染（Ⅰ.海と生物）<br>愛媛大学南予水産研究センター 准教授 清水園子<br>○ 水産増殖：水産増殖の実例<br>愛媛大学南予水産研究センター 教授・センター長 松原孝博<br>○ 水産養殖：養殖方式の分類および主要養殖種<br>愛媛大学南予水産研究センター 教授 後藤理恵   |
| 12/16<br>(土)<br>10:30<br>～16:20 | <b>【Ⅲ. 水産増養殖2(実践)】</b><br>○ 養殖技術：養殖生産技術<br>愛媛大学南予水産研究センター 教授 後藤理恵<br>○ 栄養と飼料：養殖魚の栄養と飼料<br>愛媛大学南予水産研究センター 准教授 斎藤大樹<br>○ 赤痢・魚病：有害毒プランクトン、魚病<br>愛媛大学南予水産研究センター 准教授 清水園子  |
| 1/20<br>(土)<br>10:30<br>～16:20  | <b>【Ⅳ. 利用加工・消費】</b><br>○ 水産化学・生化学：魚介類の生体成分<br>愛媛大学南予水産研究センター 准教授 斎藤大樹<br>○ 水産物の利用・加工：水産加工、冷凍・冷蔵、水産食品衛生<br>元愛媛県産業技術研究所 所長 水産学博士 平岡芳信<br>○ 水産物の流通・販売：水産物流通、商品開発、販売、消費、地域貢献<br>愛媛大学南予水産研究センター 教授 竹ノ内徳人   |
| 2/17<br>(土)<br>10:30<br>～16:20  | <b>【Ⅴ. 水産経済・水産法規】</b><br>○ 漁業制度と水産法規：漁業権、漁業許可、資源管理制度、水産法規<br>愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 金尾聡志<br>○ 漁業と資源管理：漁船漁業と資源管理の基礎<br>愛媛大学南予水産研究センター 教授・センター長 松原孝博<br>○ 水産経済・経営：水産政策、水産経済、水産経営<br>愛媛大学南予水産研究センター 教授 竹ノ内徳人   |

※都合により、講義の順番が変更される場合があります。

※本講座の内容は昨年度開催の基礎編と同様となります。詳細は募集要項④、プログラムの内容をご確認ください。

水産学のほぼ全分野について講義を実施します



## Aコース[発展編] 2023年8月28日(月) オンライン開催

### HA-2: 病害抑制のための環境制御

**終了しました** 申込締切: 8/24(木)正午

画面をクリックするとPDFをダウンロードできます。↓

愛媛大学 EHIUE UNIVERSITY

定員 50名 受講料 1,000円

**Aコース[発展編] オンライン開講**

**HA-2: 病害抑制のための環境制御**

2023年8月28日(月) 9:20~12:00

時刻	講師	科目・内容
9:20	八丈野 孝	病害抑制と環境制御 (昼間) 植物の成長が異なる気候を再現するために、実際の施設環境に対して植物がどのように反応するか、環境制御の重要性を説明します。
11:30	高山 弘太郎	ディスカッション
12:00	八丈野 孝	病害抑制と環境制御(後半) 後半は質疑応答

申込方法: 申込書(1枚)を提出

申込書ダウンロード: [申込書ダウンロード](#)

申込書提出先: [plantfactory@ehiue.ac.jp](mailto:plantfactory@ehiue.ac.jp)

※※開始時間が変更となりました※※

**[開催日時]** 2023年8月28日(月曜日) 9:20~12:00  
**[開催場所]** オンライン開催 (zoomを使用したリアルタイム講義)  
**[講演科目]** 「病気が起こる仕組みと環境制御」  
 八丈野 孝 (愛媛大学)

### ディスカッション

「病気抑制と植物環境応答を踏まえた栽培管理」  
 高山 弘太郎 (豊橋技術科学大学、愛媛大学)  
 八丈野 孝 (愛媛大学)

**[受講料]** 1,000円 (税込)

- web会議システム「Zoom」を使用した**リアルタイムオンライン**講義です。講義中、双方向での意見交換・質疑応答の時間を設けます。
- 録画した物を後日**オンデマンド**で聴講可能です。  
 (参加登録者限定・期間限定。申込期間内に受付された方のみ対応。)
- お申込み後、受講料のお振込み方法をメールにてご案内いたします。お振込みの確認が取れましたら、受付完了メールを送付いたします。講義前日までに、講義資料とweb受講URLのご連絡をいたします。

Aコース[発展編] 2023年10月6日(金) オンライン開催

HA-1: 植物生体情報活用のための植物生理生態

---

Bコース[実習] オンライン開催

2023年11月6日(月)

農作物の画像を対象としたディープラーニング入門

---

Dコース 2023年11月30日(木)

植物工場の経営(レタス)

---

Dコース 2023年12月4日(月)

植物工場の経営(パプリカ)

---

Bコース[実習] オンライン開催

2023年12月25日(月) ※好評につき、15名へ増員いたします

葉面積の計測からLAIの推定まで 基礎編

---

Bコース[実習] オンライン開催

2023年12月27日(水)

光合成計測チャンバデータの活用



# 愛媛大学 地域専門人材育成・リカレント教育支援センターの活動例

地域専門人材育成・リカレント教育支援センター  
シンポジウム2023  
～地域ニーズを踏まえた  
愛媛大学におけるリカレント教育の展開～  
令和5年 9月28日(木) 13:00～15:00

開会挨拶 社会連携推進機構長 若林 良和 (理事・副学長)

基調講演 「愛媛大学のリカレント教育への地域ニーズの実情  
～多様なステークホルダーへの聞き取り調査より～」  
地域専門人材育成・リカレント教育支援センター  
副センター長 正本 英紀

- 取組紹介
1. 高校「地理総合」の必修化に伴う担当教員の知識更新に関するリカレント教育プログラムの開発および開講  
教育学部 教授 張 貴民
  2. コロナ禍でも学びを止めない・医療職対象リカレント教育コースの開発  
医学部附属病院総合臨床研修センター 助教 内藤 知佐子
  3. AI・IOT人材を育成するためのリカレント教育プログラム  
大学院理工学研究科 副研究科長 高橋 寛
  4. 企業でのDX推進と実現に向けたデータ活用の研修  
データサイエンスセンター 教授 野口 一人
  5. 地域企業ニーズを反映した高機能材料センターリカレント教育プログラムの構築  
大学院理工学研究科/工学部附属高機能材料センター長 小林 千悟
  6. 柑橘産業人材育成プログラムにおける地域ニーズ対応のための改良  
大学院農学研究科 研究科長 治多 伸介
- 質疑応答・総合討論

愛媛大学 社会連携推進機構  
地域専門人材育成・リカレント教育支援センター  
Support Center for Local professional human resources development and Recurrent Education

トップページ ユーザー登録 各種リンク



## 愛媛大学オンデマンドシステムの主な機能

講座一覧

受講者参加中  
講師：愛媛大学 松村 穂原、前田 貴、宮松 高樹 他  
受講可能期間：2023/08/19～2024/02/03

受講者参加中  
講師：愛媛大学教員 他  
受講可能期間：2023/08/19～2024/02/10

準備中  
講師：和田 寿博  
受講可能期間：2023/09/26～2023/12/05

準備は跡の付りました  
講師：愛媛大学教員 他  
受講可能期間：2022/10/01～2023/03/31

令和5年度地域創生イノベーション育成プログラム(講義)

令和5年度 愛媛大学職労サービス人材リカレントプログラム

受講生

- 動画一覧からの閲覧 (受講ログあり)
- 資料ダウンロード
- レポート提出
- アンケート提出

担当教員

- 動画のアップロード
- 資料のアップロード
- レポートの受け取り
- 採点結果の入力
- 受講状況の確認

プログラム責任者

- 受講生登録
- 講座一覧へのプログラム登録
- プログラム紹介画面の作成・修正
- 担当教員の機能は全て

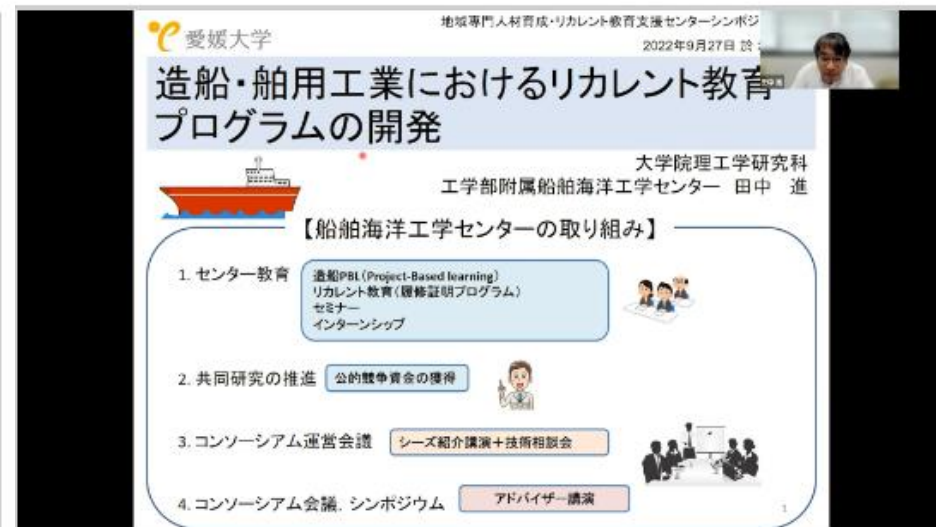


**データとデジタル技術活用による  
DX推進のための研修**

～企業におけるデータサイエンス～

愛媛大学データサイエンスセンター  
中川祐治

中川 祐治教授による報告



愛媛大学  
地域専門人材育成・リカレント教育支援センターシンポジウム  
2022年9月27日 於： 中川

## 造船・舶用工業におけるリカレント教育プログラムの開発

大学院理工学研究科  
工学部附属船舶海洋工学センター 田中 進

【船舶海洋工学センターの取り組み】

1. センター教育 造船PBL (Project-Based learning)  
リカレント教育(履修証明プログラム)  
セミナー  
インターンシップ
2. 共同研究の推進 公的競争資金の獲得
3. コンソーシアム運営会議 シーズ紹介講演+技術相談会
4. コンソーシアム会議、シンポジウム アドバイザー講演

田中 進教授による報告



愛媛地域性を活かしたカーボンニュートラル社会  
「SDGs」や「3E+S」に取り組み、エネルギー&環境  
に関わる企業や自治体などを応援！

研究結果の社会実装  
共同研究 & 共同開発

連携

工学部附属  
環境・エネルギー工学センター

オール工学部  
工学部センター部  
エンジニアリング  
モデル  
船舶海洋工学センター  
高機能材料センター  
社会連携センター

船舶工場 経産省  
イノベーションセンター  
SDGs推進室  
関連RU  
& センター

水素  
など  
利活用  
技術

e-Fuel  
技術

リサイ  
クル  
技術

教育  
& 啓発  
活動

エネルギー工学 部門

環境工学 部門

研究連絡協議会

産 官 学 民

+「3つのE（エネルギーの安定供給、経済効率の向上、環境への適合）+S（社会性）」

詳細 & お問い合わせは本センターHPへ！ <https://cse3.eng.ehime-u.ac.jp/>

中原 真也教授による報告



愛媛大学 地域専門人材育成・リカレント教育支援センターシンポジウム  
～「全世代の人材が活躍する社会」の構築につながるリカレント教育の推進～  
令和4年9月27日(水) 15:00

## 地域企業ニーズを反映した高機能材料 センターリカレント教育プログラムの構築

「工学部附属 高機能材料センター」

モノづくり企業における社会人の  
学び直しニーズに応え、人材育成  
を通じた地域産業創生を目指す

理工学研究科(工学系)  
工学部附属 高機能材料センター センター長  
小林千悟

小林 千悟教授による報告



大学名 愛媛大学

第69号 特集テーマ「国立大学のこれから」

表題 『おぎゃーの図』の具現化を目指して！

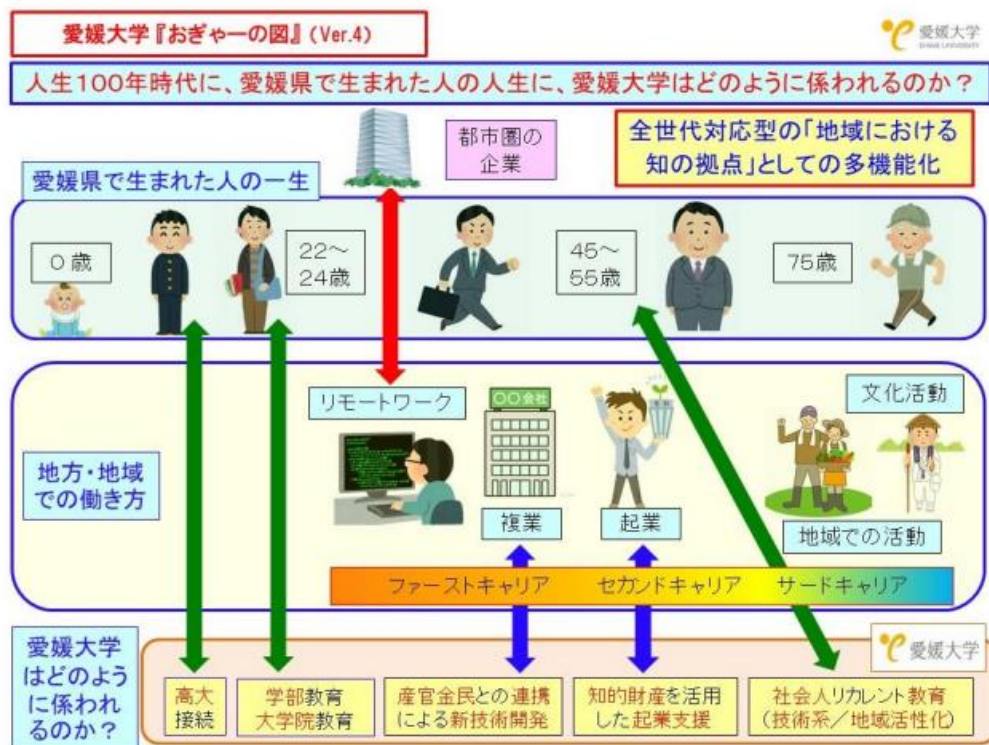
## 特色ある取組の趣旨

「これからの大学には、どのような機能が求められるか？」ということ、愛媛県で「おぎゃー」と言って生まれた赤ちゃん、その人の一生、生まれてから亡くなるまでの100年くらいの人生に、大学はどのように係わるかという視点から考え直してみたのが、『おぎゃーの図』です。現在の仁科学長が、社会連携担当理事であった2019年に作成した図であり、愛媛大学はこの図の具現化を目指しています。

愛媛県の出生数は、現在の学部1年生が生まれた2004年が12119人であったのに対し、2022年は7590人で、18年間で63%に減っています。この「縮小(していく)社会」の中では、ひとり1人の人間の大切さ、存在意義を大きくしていくことが求められ、そのためには、常に自らをアップデートするための「繰り返しの学び」が必要になります。そして、すべての人が生き甲斐を感じて働き、自分の人生が豊かであることを感じられる。そのような社会の実現に、人類の英知を扱う集団である大学は貢献すべきと考えます。

これまでのように、「22歳で大学を卒業したら、人生での学びは終わり」という時代は、もうすぐ終わります。人生が長くなる一方で、産業構造の変化サイクルや企業の寿命は、短くなっています。大学は、これまでのように18歳から22、24歳までの学部・大学院教育にウエイトを置く体制から、40歳、50歳、60歳とさまざまな年齢で、複業、起業、地域活動を始める前に、大学で再度学んでもらえるような体制に変容しなければなりません。すなわち、「大学と社会との往還」です。

愛媛大学は、あらゆる年代の学びの希望に応えられるよう、大学の多機能化を図り、単なる「地域における知の拠点」ではなく、「全世代対応型の「地域における知の拠点」」として地域に貢献していきます。



## 今後の展望

愛媛大学の  
地域連携/社会人リカレント教育プログラムは、  
地域ニーズに対応して、  
着実に発展してきている。



今後も更に進化を遂げるために、  
様々な工夫を重ね、  
全世代対応型の「地域における知の拠点」としての  
愛媛大学の益々の充実につなげる。